

幻と呼ばれた黒石米

「ムツニシキ」。

今から数十年の昔、黒石市を中心に作付けされ、海をまたいだ函館で「幻の米」と呼ばれたお米がありました。それは当時、連絡船で担ぎ屋（行商）のおばあちゃん達が運んだ黒石米のことです。これこそが「ムツニシキ」でありました。その後、少収量などが難点となり作付けが途絶えますが、2015年に黒石市が改めて栽培に挑戦。地域の若手農家グループ「南黒おこめクラブ」の協力のもと、今秋、澁を持して復活デビューをします。